

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6118519号
(P6118519)

(45) 発行日 平成29年4月19日 (2017. 4. 19)

(24) 登録日 平成29年3月31日 (2017.3.31)

(51) Int. Cl.		F 1			
C 1 2 P	19/04	(2006.01)	C 1 2 P	19/04	Z
C 0 8 B	37/00	(2006.01)	C 0 8 B	37/00	P
C 1 2 N	1/12	(2006.01)	C 1 2 N	1/12	A
			C 1 2 N	1/12	C

請求項の数 4 (全 21 頁)

(21) 出願番号	特願2012-168776 (P2012-168776)	(73) 特許権者	591145335 パナック株式会社 東京都港区芝5丁目31番19号
(22) 出願日	平成24年7月30日 (2012. 7. 30)	(74) 代理人	100112874 弁理士 渡邊 薫
(65) 公開番号	特開2014-25035 (P2014-25035A)	(72) 発明者	佐藤 剛毅 東京都港区芝5丁目31番19号 パナック株式会社内
(43) 公開日	平成26年2月6日 (2014. 2. 6)	(72) 発明者	李 貞範 富山県富山市杉谷2630番地 国立大学法人 富山大学大学院 医学薬学研究部 薬用生物資源学研究室内
審査請求日	平成27年7月24日 (2015. 7. 24)	審査官	川台 理恵
微生物の受託番号	IPOD FERM BP-11493		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 新規多糖体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パラクロレラ属ケッセリ (*Parachlorella kessleri*) -PNC1株 (FERM BP-11493) を炭素源含有培養培地で好氣的な条件下で従属培養し、生産される多糖体を回収する多糖体の製造方法。

【請求項 2】

前記培養の溶存酸素濃度が、3 ~ 13 ppmである請求項 1 項記載の多糖体の製造方法。

【請求項 3】

前記培養後、遠心分離及びろ過を単独で又は 2 種組み合わせて藻体を除去した後に凍結乾燥し、さらに水溶液に溶解後、水溶性画分を回収する請求項 1 又は 2 記載の多糖体の製造方法。

【請求項 4】

Parachlorella kessleri-PNC1と命名され、FERM BP-11493として寄託された藻体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、新規多糖体及びその製造方法、並びに当該新規多糖体を含有する皮膚外用剤、育毛剤、美白剤等に関する。

【背景技術】

10

20

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6174219号
(P6174219)

(45) 発行日 平成29年8月2日(2017.8.2)

(24) 登録日 平成29年7月14日(2017.7.14)

(51) Int. Cl.	F 1				
CO8B 37/00	(2006.01)	CO8B 37/00			Q
A61K 36/05	(2006.01)	A61K 36/05			
A61P 17/14	(2006.01)	A61P 17/14			
A61P 43/00	(2006.01)	A61P 43/00		105	
A61K 8/60	(2006.01)	A61K 8/60			

請求項の数 7 (全 20 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2016-190529 (P2016-190529)	(73) 特許権者	591145335
(22) 出願日	平成28年9月29日(2016.9.29)		パナック株式会社
(62) 分割の表示	特願2012-168776 (P2012-168776)		東京都港区芝5丁目31番19号
原出願日	平成24年7月30日(2012.7.30)	(74) 代理人	100112874
(65) 公開番号	特開2016-216750 (P2016-216750A)		弁理士 渡邊 薫
(43) 公開日	平成28年12月22日(2016.12.22)	(72) 発明者	佐藤 剛毅
審査請求日	平成28年10月6日(2016.10.6)		東京都港区芝5丁目31番19号 パナック株式会社内
微生物の受託番号	IPOD FERM BP-11493	(72) 発明者	李 貞範
			富山県富山市杉谷2630番地 国立大学法人 富山大学大学院 医学薬学研究部 薬用生物資源学研究室内
		審査官	伊藤 佑一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 新規多糖体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

多糖体の基本構造の糖残基が少なくともガラクトースとマンノースで構成され、このガラクトース：マンノースの糖残基の比率が2～4：1であり、当該ガラクトースにフラノース型が存在し、このガラクトースの含有量が、全中性糖中、50～79質量%である、*Parachlorella kessleri* (PNC1株 (FERM BP-11493) 由来の多糖体。

【請求項2】

請求項1記載の多糖体を含む育毛剤。

【請求項3】

請求項1記載の多糖体を含む毛乳頭細胞増殖賦活剤。

【請求項4】

請求項1記載の多糖体を含むFGF-7産生促進剤。

【請求項5】

請求項1記載の多糖体を含むVEGF産生促進剤。

【請求項6】

請求項1記載の多糖体を含むメラニン産生抑制剤。

【請求項7】

請求項1記載の多糖体を含む皮膚外用剤。

【発明の詳細な説明】